

産業カウンセラー学科試験 最終確認テスト 問題(解答) ～1月12日実施～

1. カウンセリングの諸理論 (※語群は過去に出題されたキーワード!)

- ① 来談者中心療法→ ロジャーズ 共感的理解、共感、ストランズ、現象学、自己概念、非指示的、実現傾向
- ② 論理療法→ エリス ●● 非合理的信念、論駁、行動指示技法、ラショナルビリーフ、REBT
- ③ 交流分析→ バーン ●● ストローク、ディスカウント、脚本、相補的交流、構造分析、ゲーム
- ④ 行動療法→ ウォルピ ●● 逆制止療法、シェービング、学習、強化、対症療法、レスポナント条件付け、系統的脱感作法、オペラント条件付け
- ⑤ 実存分析→ フランクル ●● 実存哲学、ロゴセラピー
- ⑥ ゲシュタルト療法→ パールズ ●● エンプティチェア、図と地の反転、まとまりのある構造

2. 産業カウンセリングの源流 ※3つ運動名と人名は確実に覚える!

- (1) 職業指導運動→ パーソンズ (丸いくぎは丸い穴に)
- (2) 教育測定運動→ ソーンダイク
- (3) 精神衛生運動→ ピアーズ

3. 産業カウンセリングの活動領域

- (1) 職場の人間関係開発 (2) キャリア開発 (3) メンタルヘルス対策

4. 防衛機制 ※学科2でも注意! 逐語で該当する防衛機制を問われる問題の出題も。

- (1) 逃避 (2) 抑圧 ①置き換え(取り入れ) ②摂取 ③投射(投影) ④反動形成
- (3) 逆転移 (4) 昇華 (5) 合理化

6. 心理テスト ※テストの数字に注意! 図解ポイント集で確認を。

(1) 質問紙法

YG (矢田部・ギルフォード) 法性格検査・CMI (コーネル・メィカル・インデックス)・VPI (職業興味検査)
GHQ (日本版GHQ精神健康調査票) ・SDS (うつ性自己評価尺度) ・EPPS 性格検査
MMP I (ミネソタ多面人格目録) ・TEG (エゴグラム)

(2) 投影法

SCT (文章完成法テスト)・PFスタディ (絵画-欲求不満検査)・TAT (絵画-主題統覚検査)
ロールシャッハテスト・バウムテスト

(3) 作業検査法

内田クレペリン検査・一般職業適性検査 (GATB)

(4) VPI 職業興味検査 人名: ホランド **※特に注意!**(5) MMPI (ミネソタ多面人格目録)

- (6) 信頼性 (7) 妥当性 (8) 客観性

7. メンタルヘルスの4つのケア

- ① ラインによるケア ② 事業場内産業保健スタッフ等によるケア
- ③ 事業外資源によるケア ④ セルフケア

8. カウンセリングのプロセス

(2) リレーションづくり → 問題の把握 → 目標の設定 → 目標の達成

9. エンプロイ・アビリティ

10. パーソナリティ特性論の5因子(ビッグファイブ)

① 外向性 ② 調和性(協調性) ③ 誠実性 ④ 情緒安定性(神経症的傾向) ⑤ 経験への開放性

11. キャリアガイダンスの6分野

① 自己理解 ② 職業理解 ③ 啓発的経験 ④ カウンセリング ⑤ 方策の実行
⑥ フォローアップ

12. マズローの欲求階層説

(1) 生理的欲求 ・ 安全の欲求 ・ 所属と愛の欲求 ・ 尊敬(承認)の欲求 ・ 自己実現の欲求

13. 成人期(中年期)・老年期のパーソナリティ

(1) 人生の午後 (2) レビンソン (3) エリクソン